

事業者団体調査(愛知県福祉人材センター)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。											
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
愛知県福祉人材センター	老人福祉施設直接処遇職員初級研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの経験3年以内の直接処遇職員	「老年期の精神疾患について」 認知症、老人のうつ等の老年期に特徴的な精神疾患について 「口腔ケアについて」 口腔ケアの重要性とともに、各施設内での状況・工夫等について情報交換	1回	1カ所	5時間	82人	0円	-	-	
	老人福祉施設直接処遇職員中級研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの介護職員、指導員、相談員で経験年数が3年以上の者	「職場の人間関係づくりトレーニング」 研修を通して職場内の人間関係の円滑化のヒントを得てもらうことにより、離職率の低下につなげる。	1回	1カ所	5時間	94人	0円	-	-	
	老人福祉施設職員研修	特別養護老人ホーム及び養護老人ホームの主任職員	「職場における人間関係づくり(技術・方法)について」 職場内におけるリーダーが、率先して良好な人間関係を築き、職場内の活性化を図れるようにする。	1回	1カ所	5時間	85人	0円	-	-	
	障害者(児)福祉施設直接処遇職員初級研修	障害者(児)福祉施設の直接処遇職員で経験年数3年未満	「障害者自立支援法について」 「第2期愛知県障害者福祉計画について」 「インシデント・プロセス法での問題の解決手順を習う」	1回	1カ所	5時間(1日)	150人	0円	-	-	
	障害者(児)福祉施設直接処遇職員中級研修	障害者(児)福祉施設の直接処遇職員で経験年数3年以上の者	「ストレングス・モデルで作成する個別支援計画」	1回	1カ所	5時間(1日)	122人	0円	-	-	
	障害者(児)福祉施設主任職員研修	障害者(児)施設の主任級指導員等の職員	「主任職員に求められる技量」 ・どのように利用者・家族の声を聴いているか ・施設の改善点に気づき、対応できているか等	1回	1カ所	5時間(1日)	114人	0円	-	-	
	訪問介護員研修	指定訪問介護事業所の現任の訪問介護員等であって、平成21年6月末日において、サービス提供責任者として2年以上従事している者	「指定訪問介護事業所の運営基準と指導監査について」 「認知症への理解と家族支援」 「訪問介護計画の作成と展開」等	1回	1カ所	30時間(5日)	93人	0円	-	-	
	障害者ホームヘルパー研修	障害者ホームヘルパー事業所に従事するホームヘルパー	「自閉症スペクトラムの特性理解と発達障害の理解」 「現場におけるコミュニケーション支援」 「インシデント・プロセス法で問題解決の手順を習う」	1回	1カ所	4.5時間(1日)	110人	0円	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 介護職員の資質向上を図るために、より効果的・効率的な研修実施をめざし、研修体系の見直しを検討していく必要がある。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ・委託元である愛知県の担当課と協議し、時宜にかなったテーマをとり上げることで介護職員の研修参加の意欲を高めるよう工夫している。 ・前年度末に、1年間の研修スケジュールを各施設に通知することで、施設側が研修参加を考慮した勤務体制を組むことが可能となる。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 該当者が研修を受講する間、人的な補充がスムーズにできるような支援が必要。
--	---	--

事業者団体調査(三重県社会福祉協議会)

実施主体										
質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
三重県社会福祉協議会	接遇マナー講座	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・市町社会福祉協議会の職員	オリエンテーション (講義・演習)接遇マナー講座	1回	1カ所	14.5時間(2日)	45人(定員)	-	-	
	クレーム対応研修	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設通所介護事業所・市町社会福祉協議会の職員等	リスクマネジメント講座～クレーム対応の基礎から、高齢者施設におけるクレーム対応～	2回	1カ所	6時間(1日)	100人(定員)	-	-	
	職場内の円滑なコミュニケーション	県内各福祉施設、市町社会福祉協議会職員等	(講義) 職場内の円滑なコミュニケーションについて	1回	1カ所	6時間(1日)	80人(定員)	-	-	
	介護記録講座(介護記録の取り方について)	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問介護事業所、市町社会福祉協議会の職員で、主に介護に従事する職員	介護記録講座(お昼休憩1時間挟む)(講義・演習)実践的な介護記録の書き方について	1回	1カ所	6時間(1日)	80人(定員)	-	-	
	排泄ケア講座	介護老人福祉施設、介護老人保健施設等を中心とした入所施設職員	講義・演習「排泄ケアについて」・排泄ケアの基本・ストーマケアの基本	1回	1カ所	6時間(1日)	50人(定員)	-	-	
	口腔ケア講座	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・訪問介護事業所・市町社会福祉協議会の職員他	口腔ケア講座(講義)施設における口腔ケアの取り組み状況～松阪地区での活動より～(演習指導)口腔ケアの実技指導 ～いろいろな口腔ケアグッズの使用法・口腔機能向上トレーニング～	1回	1カ所	3時間(1日)	60人(定員)	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。

事業者団体調査(大阪府社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
大阪府社会福祉協議会 大阪社会福祉研修センター	社会福祉施設職員研修 老人施設課程基礎コース	社会福祉施設に勤務して3年未満の職員及び施設長が認めた者	現在の高齢者福祉の課題・動向を把握し、利用者の自立支援・生活支援に立った援助技術、利用者へのサービスの質の向上を図ることを目的として実施。	1回	1カ所	18.5時間(3日)	74人	-	-	1日目と2日目は応用コースと合同で実施
	社会福祉施設職員研修 老人施設課程応用コース	社会福祉施設に勤務して3年以上の職員及び施設長が認めた者	現在の高齢者福祉の課題・動向を把握し、利用者の自立支援・生活支援に立った援助技術、利用者へのサービスの質の向上を図ることを目的として実施。	1回	1カ所	18.5時間(3日)	78人	-	-	1日目と2日目は応用コースと合同で実施
	老人施設課程(介護技術コース・レクリエーション編)	老人福祉施設に勤務する職員及び施設長が認めた者	講義、演習、受講者自らの実践の振り返りを通じて、「レクリエーション」の考えならびに各老人福祉施設で利用者への援助に役立つ具体的方策等について学ぶ	1回	1カ所	12.5時間(3日)	50人	-	-	-
	老人施設課程(介護技術コース・実技編)	老人福祉施設に勤務する職員及び施設長が認めた者	利用者(要介護者)にとっての食事・入浴・排せつ・移動の意味合いや各介助に関するさまざまな知識や介助方法について講義、演習(実技)、グループディスカッション	1回	1カ所	14時間(2日)	30人	-	-	-
	特別養護老人ホームでのケアの在り方に関するゼミナール	特別養護老人ホームの5年以上の職員(介護職員・生活相談員と医療・看護系職員等)の2人で参加されることが望ましい)で、全3回出席が可能であり、加えて施設長の推薦がある者	「特別養護老人ホームでケアのあり方」をテーマに、現在、増えつつある、重度化した利用者がその人らしい生活ができるケアのあり方、医療をはじめ、他職種との連携のあり方、看取りケア等について、ゼミナール形式で研究、実践	1回	1カ所	15時間(3日)	44人	-	-	-
	老人施設スーパーバイザー養成専門ゼミナール	老人福祉施設の主任級の指導的職員で加えて施設長の推薦のある者	対人援助について考察を深めるとともに、スーパービジョンの理論を学び、実践的な応用力を高める。またスーパービジョンの構造と機能を理解する。	1回	1カ所	25時間(10日)	14人	-	-	-
	老人施設スーパーバイザー養成スキルアップゼミナール	平成20年度「老人施設スーパーバイザー養成専門ゼミナール」修了者であって、加えて施設長の推薦のある者	20年度のゼミナールの受講生を対象に、スーパーバイザーとしての力量をより高め、スキルアップしていただくことを目的に開催。ゼミナールでは、受講生が中心となり、各自が事例等を持ち寄り、討議によってスーパービジョンを実践的に学ぶ。	1回	1カ所	12.5時間(5日)	5人	-	-	-
	老人施設課程非常勤職員コースⅠ(非常勤介護職員スキルアップ研修)	社会福祉施設の非常勤介護職員	介護現場全体のスキルアップ、他施設との情報交換など、研修を通じて介護の仕事の魅力を改めて感じていただくとともに、職場への定着・離職防止を目的として実施	3回	1カ所	5時間(1日)	118人(第1回32人、第2回38人、第3回48人)	-	-	地域ごと3ブロックに分けての開催 本会 老人施設部会と共催で実施
	老人施設課程非常勤職員コースⅡ(非常勤介護職員スキルアップ研修Ⅱ)	非常勤職員で、非常勤職員コースⅠを受講した者	介護現場全体のスキルアップ、他施設との情報交換など、研修を通じて介護の仕事の魅力を改めて感じていただくとともに、職場への定着・離職防止を目的として実施	2回	1カ所	6時間(1日)	92人(第1回47人、第2回45人)	-	-	本会・老人施設部会と共催で実施
	老人施設課程リーダー認定コース	勤務3年以上経過した職員であり、リーダー及びリーダー候補者として施設長が推薦する者	仕事へのやりがいを今以上に見出し、モチベーションを高めていくことを目的に、現場の実践に直結する講義内容でリーダーとして必要な技量を習得する内容を実施	1回	1カ所	17.5時間(5日)	146人	-	-	本会・老人施設部会と共催で実施
老人福祉施設における死生学研修会	大阪府の老人福祉施設に勤務する職員(生活相談員、介護職、看護職等)で、実際にターミナルケアにかかわっている人(経験のある人)、もしくはターミナルケアや看取りについて日ごろから高い問題意識をもっている者	看取りやターミナル期に焦点を当て、福祉専門職としての死生観を構築する	1回	1カ所	14.5時間(3日)	40人	-	-	-	

事業者団体調査(大阪府社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
大阪府社会福祉協議会 大阪社会福祉研修センター	認知症介護実践研修 実践者研修	介護経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	認知症介護に関する実践的な知識及び技術を習得する。	3回	1カ所	47時間(8日)+実習	239人(第1回:78人、第2回:80人、第3回:81人)	-	-	-
	認知症対応型サービス事業者管理者研修	認知症対応型通所介護事業所等の管理者(予定者も含む)であって、認知症介護実践研修実践者研修を修了している者	認知症対応型通所介護事業所等を管理・運営していくために必要な知識・技術を習得する。	2回	1カ所	7時間(2日)	108人(第1回:61人、第2回:47人)	-	-	-
	小規模多機能型サービス計画等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成又は計画作成担当者になることが予定される者で、実践者研修を修了している者	小規模多機能型居宅介護事業所において利用者及び事業の特性を踏まえた小規模多機能型居宅計画を作成するために必要な知識及び技術を習得する。	2回	1カ所	9.5時間(2日)	33人(第1回:11人、第2回:22人)	-	-	-
	福祉職員研修(新任職員)	社会福祉施設に勤務する職務経験2年未満の職員	福祉職員として共通する専門性と併せて組織人としての基本的役割を具体的に理解する。	4回	2カ所	12時間(2日)	142人(第1回:36人、第2回:35人、第3回:36人、第4回:35人)	-	-	-
	福祉職員研修(中堅職員)	社会福祉施設に勤務する職務経験2年以上5年未満の職員	利用者理解の方法や福祉課題への気づきを学び、後輩への指導など新たに課せられた中堅職員の役割を理解する。	4回	2カ所	12時間(2日)	140人(第1回:36人、第2回:36人、第3回:31人、第4回:37人)	-	-	-
	福祉職員研修(指導的職員)	社会福祉施設で主任、係長、事務長等の指導的立場にある者	利用者へのサービスを保持向上させるための職員指導や職場改善のあり方を学び、指導的職員の役割行動を理解する。	4回	3カ所	6時間(2日)	141人(第1回:36人、第2回:36人、第3回:35人、第4回:34人)	-	-	-
	福祉職員研修(OJTリーダー養成)	主任、リーダークラスの職員、研修担当の職員	OJTとは何か、OJTリーダーの役割について学び、リーダーとしてどうあるべきかを身につける。	4回	2カ所	12時間(2日)	138人(第1回:35人、第2回:37人、第3回:30人、第4回:36人)	-	-	-
	福祉職員研修(施設長等運営管理職員)	施設長及び施設の運営に関する方	マネジメントや組織革新のあり方を学び、職員の能力開発や職場の問題解決の手法等を学ぶ。	4回	3カ所	12時間(2日)	147人(第1回:40人、第2回:41人、第3回:35人、第4回:31人)	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 適切な研修受講料の設定をいかにするか。(委託研修、補助研修、自習研修での違いなど) 申込み人数が定員割れした場合や定員以上になったときの対処方法。(施設からのクレームをいかに少なくさせるか) 新たな課題や現場で直面する課題解決にむけた研修内容やテーマについての設定(時宜にかなった内容、ニーズの把握等) 	<ul style="list-style-type: none"> 研修案内を早期に行い、職員の勤務体制などの日程調整がしやすいようにしている。 一部の研修については、本会・老人施設部会とも共催したり、また、老人施設課程の研修専門委員会や施設関係者にも委員に入ってもらい、企画検討するなど、受講者のニーズにできるだけかなった形で実施できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の処遇改善(人材不足の解消、勤務時間等の改善、給与改善等) 研修参加期間中は、代替職員が確保できるようにするなど、職員が研修に参加出来るようにしていく体制を構築していくことが急務であると思う。 研修参加が職員のキャリア形成の際に昇進等で考慮もしくは反映されるような仕組みがあれば、さらにモチベーションが高まると思う。 理事長、施設長等が研修に対する理解を深めていくようにする働きかけ等が必要でないかと思う。

事業者団体調査(兵庫県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
兵庫県社会福祉研修所	障害福祉施設系事業所新任職員研修	障害福祉施設系事業所の新任職員	福祉施設業務に従事する上で、必要な基礎的知識、技能、心構え等についての理論と実際	1回	1カ所	9.75時間(2日)	139人	-	-	-
	老人福祉施設新任職員研修	老人関係福祉施設の新任職員	福祉施設業務に従事する上で、必要な基礎的知識、技能、心構え等についての理論と実際	3回	1カ所	17時間(3日)※総計	344人	-	-	-
	障害福祉施設系事業所職員研修	障害福祉施設系事業所の中堅職員	障害者(児)福祉の動向ならびにサービス理念を理解し、今後、事業所職員として必要な知識と技法	1回	1カ所	5時間(1日)	86人	-	-	-
	老人福祉施設職員研修	老人関係福祉施設の中堅職員	高齢者福祉の動向ならびにサービス理念を理解し、今後、事業所職員として必要な知識と技法	1回	1カ所	5時間(1日)	121人	-	-	-
	相談面接技術研修(初級)	福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年未満の職員(保育所保育士を除く)	適切な相談援助を進める上での基礎的な知識・技術	1回	1カ所	10時間10分(2日)	61人	-	-	-
	相談面接技術研修(中級)	福祉施設・社協等に勤務し、相談援助業務従事年数3年以上の職員(保育所保育士を除く)	適切な相談援助を進める上での実践的な知識・技術	2回	1カ所	20時間20分(4日)※総計	48人	-	-	-
	レクリエーションリーダー養成研修	老人福祉施設及び障害福祉施設系事業所でレクリエーション業務を担当している職員	レクリエーションの知識・技術と施設におけるレクリエーションの企画・運営の考え方・手法	1回	1カ所	10時間10分(2日)	99人	-	-	-
	新任リーダー研修	社会福祉施設・団体等において、新たに指導監督の立場に就任した職員	組織課題の把握や解決に取り組むための視点・方法と組織運営を効果的に進めていく知識・技術	1回	1カ所	5時間10分(1日)	92人	-	-	-
	接遇・日常マナーリーダー養成研修	社会福祉施設・団体等において、新任職員や職員を指導する立場にある指導監督の職員	利用者やその家族と接する上での基本的マナーや、日常の行事や食事等の作法や対応について、職員に対して指導できるリーダーの養成	2回	1カ所	20時間50分(4日)※総計	143人	-	-	-
	接遇・日常マナーリーダー養成研修(フォローアップ研修)	平成19・20年度の接遇・日常マナーリーダー養成研修修了者	研修受講後の職場での取り組みの振り返りと実践能力の向上	1回	1カ所	5時間20分(1日)	55人	-	-	-
	中間指導者・管理者ステップアップセミナー	現場チームのチームリーダーの職責にある職員、またはリーダーに準じる職員(役割を期待されている職員も含む)	中間管理職として役割、チーム運営を基本に業務を適正かつ確実に進める知識及び技術	2回	1カ所	44時間(8日)※総計	89人	-	-	-
	老人福祉施設職員ゼミナール	老人福祉施設で主任など指導的立場にある職員	老人福祉施設における様々な援助課題の解決策	1回	1カ所	21時間20分(4日)	7人	-	-	-
	介護福祉士受験セミナー(受験準備講習会)	第22回介護福祉士国家試験を受験予定の方	介護福祉士国家資格(筆記試験)の受験予定者を対象に、過去問題・福祉情勢・法改正の内容等から、合格の鍵を握る「頻出ポイント」に焦点をあてて学習し、得点力アップを目指す。	1回	1カ所	18.75時間(3日)	152人	-	-	筆記模擬試験を含む。
	介護福祉士受験セミナー(筆記模擬試験)	第22回介護福祉士国家試験を受験予定の方	介護福祉士国家資格(筆記試験)の受験予定者を対象に、過去問題・福祉情勢・法改正の内容等から、合格の鍵を握る「頻出ポイント」に焦点をあてて学習し、得点力アップを目指す。	1回	1カ所	3時間50分(1日)	213人	-	-	-
	介護職員のエンパワメント研修	県内の施設等で勤務する介護職員または関心のある方	より質の高いケアを行うために、日々の実践を振り返りながら、介護職員がいきいきと輝いて「適切なケア」を実践できる方法を考える。	1回	1カ所	5時間20分(1日)	144人	-	-	-
職場研修推進フォーラム	福祉現場の職場研修担当者、社会福祉法人の役職員、福祉事業所の経営者・従事者など、関心のある方	記念講演「私が育つ、職場も育つ、職場研修」 パネルディスカッション「職場研修を通じた職場づくり ～職場研修支援事業の取り組みから～」	1回	1カ所	4時間45分(1日)	152人	-	-	-	